

郡山市の健康課題 全体像

※全国・福島県等の記載がない場合は郡山市の数字を表す。



背景

- 人口減少・高齢化率上昇
- 生産年齢人口減少
- 車社会
 - 一人あたり乗用車台数 福島県 第8位 (2021年)
- 東日本大震災、福島第一原発事故 (2011年)
 - 事故後、メタボ増加傾向
- 新型コロナ流行 (2020年～)
 - ・外出自粛による健康指標の悪化
 - ・健康意識の高まり
- 国民健康保険特定健診受診率(2020年) 34.8%
 - 中核市平均32.3%を上回っているが、国の目標値 (60%) に達していない。
- 国民健康保険特定保健指導実施率が低い (2020年度)
 - 男性9.7% 女性12.3%

不適切な生活習慣

- 偏った食事
 - ・塩分摂取量が多い 福島県 男性ワースト1位 女性ワースト2位
 - ・朝食欠食が多い (20歳代)
- 運動不足
 - 運動習慣がない割合
 - ・子育て、働き世代が高い
- 生活習慣病のリスクを高める飲酒
 - ・男性は全国よりも高い
- 喫煙率
 - ・全国と比較して男性は40歳代が、女性は20-30歳代が突出して高い
 - ・子育て、働き世代が高い
- ストレスを感じる人の割合
 - ・子育て、働き世代が高い
 - ・男性34-50歳代のストレス解消法は飲酒が最多

生活習慣病予備群

○郡山市国民健康保険特定健診有所見者割合(2021年度) (標準化比 全国=100)

	男性	女性
BMI 25以上	36.1% (106.4)	25.9% (117.6)
腹囲 85cm以上	58.7% (105.2)	23.7% (123.0)
血糖 100以上	45.1% (139.0)	30.8% (150.3)
HbA1c 5.6以上	58.7% (99.9)	59.1% (103.5)

○メタボ(予備群含む)の割合 男女 全国よりも高い

○特定健診精密検査(内科) 約半数が未受診→医療につながっていない可能性

○リスクの重なり(血圧 血糖 脂質)

- ・有所見者の半数以上が複数リスクを所持
- ・心筋梗塞、脳梗塞、認知症につながる血圧・血糖の重なりはメタボ(予備群含む) 該当者で47.1%、非該当者でも26.4%にみられる

生活習慣病

○国民健康保険 特定健診質問票(服薬) (標準化比 全国=100) (2021年度)

疾病	男性	女性
高血圧症	49.4% (113.7)	38.3% (118.7)
脂質異常症	29.2% (119.2)	37.2% (117.2)
糖尿病	14.9% (119.7)	7.5% (120.0)

・高血圧症、脂質異常症、糖尿病の服薬治療を受けている割合が高い。服薬ありでも値が良くない方が多い。

○国民健康保険 外来標準化医療費の比 (全国=1) (2021年度)

疾病	男性	女性
糖尿病	1.04	1.05
高血圧症	1.03	1.07
脂質異常症	1.00	1.00
脂肪肝	1.40	1.41
精神	1.28	1.24

・糖尿病、高血圧症、脂肪肝の外来医療費が高い ※生活習慣病ではないが、うつ病も高い。

重症化

○入院患者数上位 5疾病 (2018年度) ※「その他」とつく疾病は除く

□郡山市国民健康保険

1	高血圧性疾患
2	糖尿病
3	脂質異常症
4	虚血性心疾患
5	胃炎及び十二指腸炎

□郡山市後期高齢者医療制度

1	高血圧性疾患
2	糖尿病
3	虚血性心疾患
4	脳梗塞
5	肺炎

・生活習慣病が上位を占める

介護・死亡

○平均寿命 (2020年)

	郡山市
男性	81.11
女性	87.07

○健康寿命 (2020年)

	郡山市
男性	79.84
女性	84.37

○標準化死亡比(全国=100) (2013年～2017年)

死因	男性	女性
悪性新生物 総数	93.0	96.4
〃 大腸	105.4	101.8
心疾患 総数	98.0	103.3
〃 急性心筋梗塞	183.0	197.5
脳血管疾患 総数	111.4	110.0
〃 脳内出血	103.7	114.1
〃 脳梗塞	120.2	107.9
肝疾患	93.5	112.0
腎不全	98.2	109.6

急性心筋梗塞による死亡率が非常に高い

○高齢者の社会参加割合 (2021年) 49.0% (目標値80%)

○介護認定の要因

原因疾患	割合
認知症	23.6%
整形外科疾患	19.1%
脳血管疾患	18.1%
高血圧	6.6%
心疾患	4.5%
がん	4.4%
糖尿病	2.8%
その他	20.9%

生活習慣病が約4割を占める

こども

- 小中学生肥満率
 - 小中学生すべての学年で 全国平均よりも高い
- 小中学生 視力矯正率
 - 小中学生ともに全国平均よりも高い
- むし歯罹患率
 - ・1歳6か月・3歳・6歳児は 全国よりも高い
 - ・12歳児は全国平均と同程度

○定期的な歯科受診率 20歳代男性が最も低い

○進行した歯周炎を有する割合 全国よりも高い

